

防災 の手引き

保存版

地域・家庭で
防災対策に
取り組みましょう！



ゆれやすさマップ

P-9



浸水想定区域図

P-17



土砂災害警戒区域図

P-19

緊急時電話番号

事件・事故

 110

消防・救急

 119

災害用伝言ダイヤル



171 +

● 録音 1
▶ 再生 2

+

市外局番 - 被災した家の電話番号

※録音時間は30秒以内（通話料のみ必要です）

防災行政無線ダイヤル



0120-120-198

防災行政無線の放送内容がフリーダイヤルで確認できます。
防災行政無線で放送した内容は、左記のフリーダイヤルで24時間いつでも確認できるようになりました。防災行政無線の放送が聴き取りにくい場合にご利用ください。

※ただし、確認できる放送内容は「こちらは防災永平寺町役場です。」から始まる放送のみです。

永平寺町役場（代表）



（本庁）0776-61-1111・（永平寺支所）0776-63-3111・（上志比支所）0776-64-2211

はじめに

「永平寺町防災の手引き」は、住民の皆さんが災害時に避難を考えるために役立つ情報をまとめたものです。

地震や水害・土砂災害などの自然災害は、いつ発生してもおかしくありません。

想定される災害を知り、いざというとき、あわてず行動できるように、この冊子を使って家族や地域で話し合しましょう。

防災・減災対策の基本を知りましょう

防災・減災対策の基本は、行政が取り組む「公助」、地域の安全は地域で守る「共助」、自分の命は自分で守る「自助」をバランスよく高めていくことにあります。町では、総合防災訓練や自主防災組織への支援を通じて地域防災力の向上を図るなど、さまざまな防災・減災対策を推進しています。住民の皆さん一人ひとりにおいても、災害による被害を少しでも軽減させるために、自分に何ができるか、地域で何に取り組まなければならないかについて、考えてみてください。



住民の役割

- 落ち着いて自分の身を守る
- 家族を守る
- 地域の地震や水害について知る
- 防災知識を身に付ける
- 災害・被害情報の収集

一人ひとりの
自覚に根ざした

自助

【自分の命・財産は自分で守る】



共助の役割

- 協力して消火・救出活動
- 地域防災活動の推進

事業所の役割

- 顧客、従業員などの安全確保
- 地域との助け合い

地域コミュニティ
などによる

共助

【隣近所での協力】



行政の役割

- ハザードマップなどの作成及び公表
- 被害想定・被害軽減策の検討
- 地域防災体制の仕組みづくり

行政による

公助

【町が進める防災対策】



協力・補完


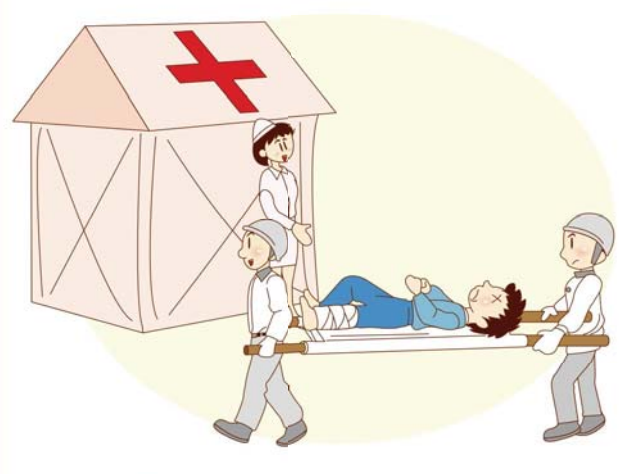


地域内で助け合おう

●自主防災組織の強化

災害による被害を防止、軽減するために「実動部隊」としての自主防災組織の強化を図りましょう。いざというとき、迅速かつ効果的に防災活動を行えるように、役割分担や運営ルールを話し合い、明確にしておくことが重要です。



平常時の活動	災害時
 <p>自主防災会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合場所や避難経路の確認 ○食料等の備蓄の呼びかけ ○応急衣料品や資機材の準備 ○災害時要援護者への支援体制 	 <p>自主防災組織の活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○被害情報等の収集、伝達 ○避難誘導 ○負傷者の救出、搬送などの協力 ○避難所の開設・運営への協力

●要援護者への配慮

高齢者や乳幼児、または障がいのある方など、災害時にさまざまな助けを必要とする人たちが、たくさんいます。地域が一丸となって、要援護者を守るための対策をこころがけましょう。

	<h3>耳が不自由な方</h3> <p>話すときは口を大きく動かすようにする。 手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝える。</p>		<h3>目が不自由な方</h3> <p>声をかけて情報をしっかりと伝える。 杖を持った方の手には触れず、ヒジのあたりに手を添え、誘導する。</p>
	<h3>高齢者や寝たきりの方</h3> <p>緊急時は背負って安全な場所に移動する。 不安にさせないように声をかける。</p>		<h3>車イス利用の方</h3> <p>階段を使って移動する場合は、必ず2人以上で行い、上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動する。 介護者が1人の場合は、ひもなどを利用して背負って移動する。</p>

地震の起こるしくみ

●いつでも起こりうる大地震

近年、各地で洪水や地震などの自然災害が多発しており、永平寺町においても、同様の地震が発生する可能性があります。阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の約9割が、住宅の倒壊や家具の下敷きなどによる圧迫死や窒息死であったとされています。住まいの耐震化など、身近な地震対策から始めましょう。

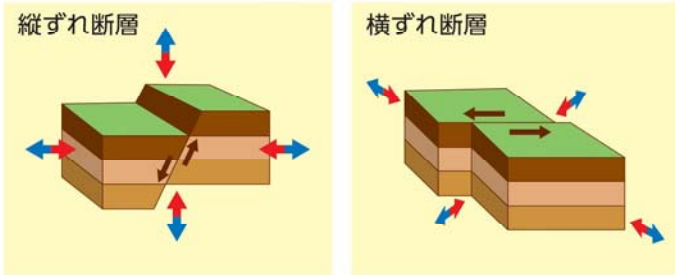
内陸型地震

内陸型地震とは、活断層（過去の地震により作られた岩盤の歪み）が原因とされる地震です。

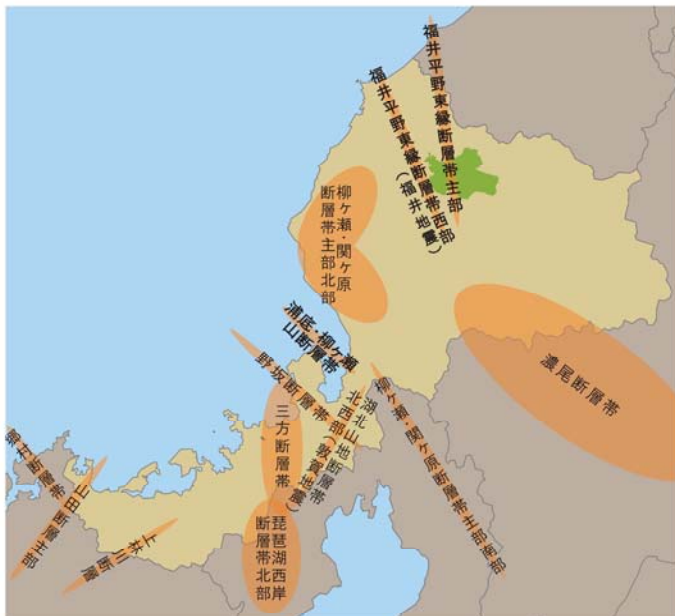
本町の直下には福井平野東縁断層帯があるといわれており、この断層帯を震源とする地震が発生した場合の町の被害は計り知れません。

●内陸型地震の発生イメージ

← 圧縮の力
→ 引っ張りの力



●活断層分布図

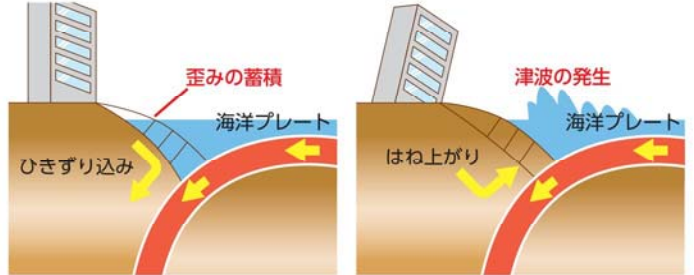


海溝型地震

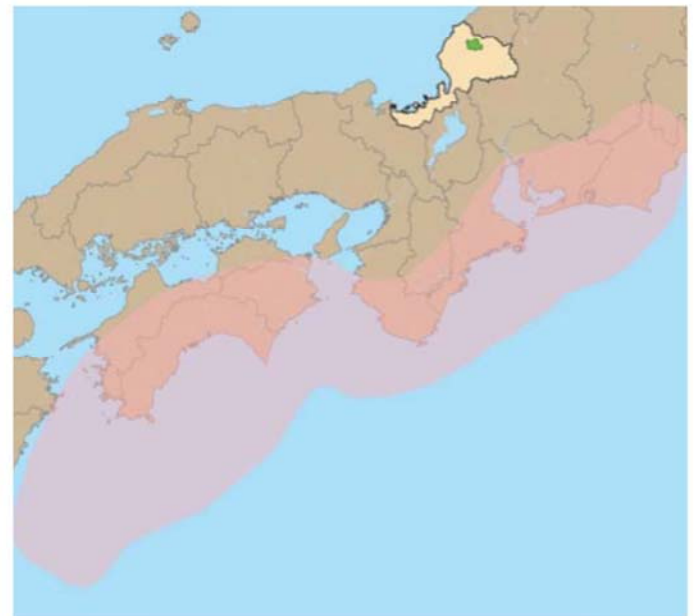
海溝型地震とは、地球を覆うプレートがぶつかりあう場所を震源とする地震です。

本町にも影響及ぼすものに南海トラフの地震がありますが、東日本大震災を教訓に、新しく震源域が見直されました。

●海溝型地震の発生イメージ



●南海トラフ想定震源域





過去の地震被害

過去の地震史料から、本町周辺でマグニチュードが7を超えたと想定される大きな地震は福井地震、濃尾地震、北美濃地震などがありました。これらの被害概要は表のとおりで、当町域での被害の有無は不明ですが、相当な揺れが起きたことが想像できます。

●福井県に被害を及ぼした主な地震

発生日月日	地震名	マグニチュード	福井県の被害状況
1891年10月28日(明治24)	濃尾地震	8	越前で死者12人、負傷者105人、家屋全壊1,090棟。 日本の内陸地震では最大の地震規模といわれている。
1948年6月28日(昭和23)	福井地震	7.1	福井平野及びその付近で被害。死者3,728人、負傷者21,750人、 家屋全壊35,382棟、同焼失3,851棟。
1961年8月19日(昭和36)	北美濃地震	7	死者1人、負傷者15人、家屋全壊12棟。

注)このほかにも歴史上大きな地震で天正地震(1586年)がありますが、被害地域の記録が日本海の若狭湾から太平洋の三河湾に及び歴史上類のない大地震であり、震源域もマグニチュードも明確な定説がないため表からは省略しています。

出典：地震調査研究推進本部ホームページ

今後予想される地震

国の研究では、本町の周辺にも多くの活断層があることが知られていますが、そのほとんどが発生確率は0%あるいは不明とされています。町に最も影響を及ぼすと想定される福井平野東縁断層帯(主部)の地震も50年以内に発生する確率は高くても0.1%と試算されています。

ただし、活断層が確認されていない地域でも過去に地震は発生しています(活断層が確認されていない場所で発生した地震の最大規模はマグニチュード6.9とされています)。したがって、いつでも、どこでも大きな地震が起こりうることをイメージしておくことが重要です。

●町に影響を及ぼすと考えられる地震の長期評価

地震の型	震源の領域名	マグニチュード	地震発生確率		町で予想される最大震度
			30年以内	50年以内	
内陸型	福井平野東縁断層帯(主部)	7.6	ほぼ0~0.07%	ほぼ0~0.1%	6強
海溝型	南海トラフ	8~9 クラス	60~70%	90%以上	5弱

※地震発生確率は、国(地震調査研究推進本部)の公表値(平成25年1月1日が基準日)

日ごろからの地震への備え

地震による被害を軽減するために、家屋の耐震化、家具の配置・転倒防止の検討、二次災害への備えを行いましょう。※阪神・淡路大震災では、地震直後の死者の約9割の方が建物や家具の転倒による窒息死や圧死でした。

●事前にできる、安全対策

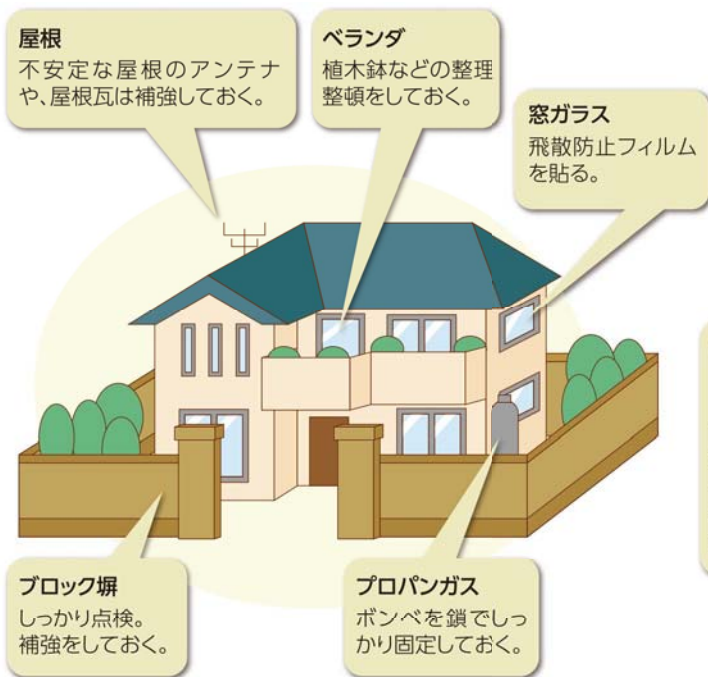
家の中の安全確認



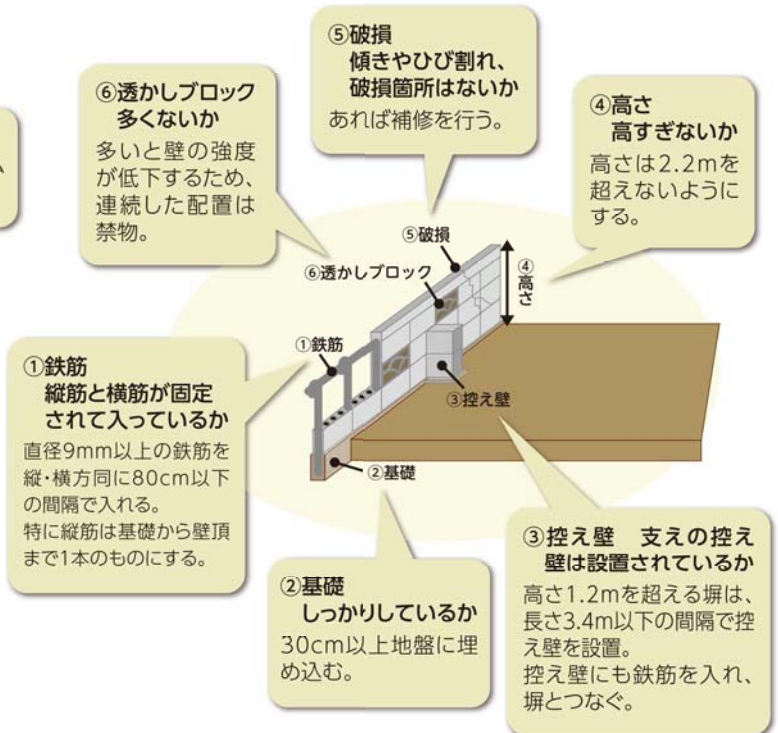
戸建住宅などの場合、できるだけ1階で寝ることは避ける。部屋の入り口付近には物を置かないようにする。棚やタンスなどの家具には、転倒防止金具を取り付ける。テレビや置物などには、すべり止めを取り付ける。



家の周囲の安全確認



ブロック塀の安全対策



●耐震診断を受けましょう

地震対策の第一歩は、自分の家の耐震性能を知ることです。大きな地震が起きても自分の家は大丈夫なのか、耐震診断を受けて確かめましょう。

※耐震性の判断には建築の専門知識が必要です。町では住宅の耐震診断について助成を行っています。詳しくは町役場建設課にご相談ください。





●消火器の使い方

①安全ピンに指を掛け、上に引き抜く



②ホースを外して火元に向ける



③レバーを強く握って噴射する

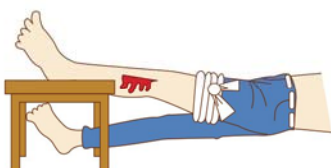


④左右にほうきで掃くようにする

⑤出口を背にして、煙や薬剤で退路を見失わないようにする

●応急手当の仕方

出血



- 直接傷口を清潔なガーゼやハンカチなどで強く圧迫する(直接止血法)
- 傷口は心臓より高くして安静にさせる

やけど



- きれいな水で十分冷やす
- 衣服は脱がさずそのままに
- 水泡(水ぶくれ)は破らない
- 冷やした後は、消毒ガーゼか清潔な布で保護

骨折



- 折れた部分に添え木をあてて固定する
- 添え木がないときは、傘、段ボール、雑誌、靴べら、杖など身近なもので代用する

ねんざ・脱臼



- ねんざしたときは患部に湿布薬を貼って冷やす
- 脱臼したときは三角巾や風呂敷など患部が動かないように固定する

知っていますか? AED

電気ショック(除細動)は、心停止の傷病者の救命に大変有効な手段です。電気ショックを一般の人でも簡単に安心して行うことができる機器が「AED(自動対外式除細動器)」です。AEDは傷病者の心臓のリズムなどを自動的に調べ、必要な操作を音声メッセージなどで指示します。近くにAEDがある場合には、勇気を持ってAEDを使い応急手当をしましょう。



●防災訓練に参加しましょう

「消火器を使う」、「応急手当をする」といった行動は、ふだんの平静な気持ちではいられません。

そんなときでも確実に行動するためには、体験し、身体で覚えておくことが有効です。しかしながら、日常の中でこうした体験をするのは容易ではありません。防災訓練で体験し、「知っている」を「できる」にしておきましょう。



いざというときに落ち着いて行動できるように地震が起きた場合を想像してみましょう

地震は、いつどのような場合に発生するかわかりません。仮に地震が起きた場合に、自分の周りでどのような事態が発生するかを想像してみましょう。

●家の中では

料理中なら…	寝ていたら…	入浴中なら…	TVを見ていたら…
 <p>まずは身を守り、落ち着いたら火を消しましょう。</p>	 <p>ふとんやまくらで頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。</p>	 <p>あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。</p>	 <p>重い家具の近くや、電灯の真下などから離れましょう。</p>

●家の外では

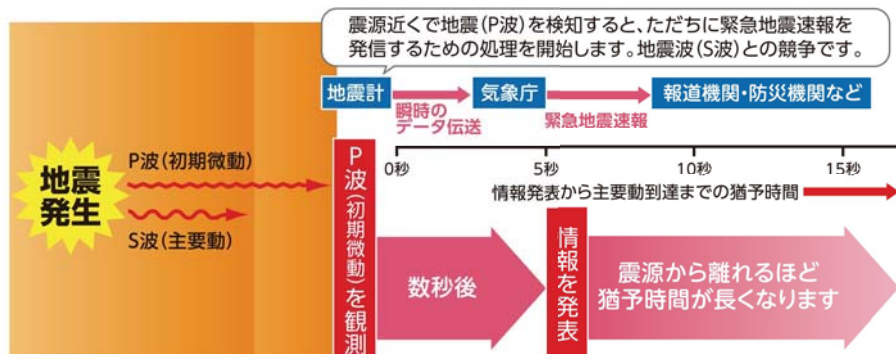
<p>買い物中なら…</p>  <p>買い物かごやかばんで頭を守り、店員の指示で避難しましょう。</p>	<p>車の運転中なら…</p>  <p>道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーをさしたままにしましょう。</p>	<p>電車に乗っていたら…</p>  <p>吊り革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。</p>
<p>仕事・授業中なら…</p>  <p>本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。</p>	<p>住宅地を歩いていたら…</p>  <p>ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。</p>	<p>エレベーターの中にいたら…</p>  <p>すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。</p>

●緊急地震速報とは

地震による強い揺れを、揺れが始まる前にお知らせする「緊急地震速報」の提供が、平成19年10月から始まっています。

「緊急地震速報」は、報道機関や防災機関から皆さまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動を取る必要があります。

ただし、震源地に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



●避難時の留意点

地震発生直後の行動

1 グラツときたら身の安全

揺れが収まってからの行動



2 落ち着いて火の元確認
初期消火



3 ガラスや食器が割れていたら
室内でも靴をはく



4 窓や戸を開け
出口を確保



5 外に出るときは
落下物に注意



6 倒れかけた塀や
切れた電線には近寄らない

その後の行動



7 ラジオなどで正しい情報を把握する
(デマに惑わされない)



8 隣近所と安全を確認し合う
(特に要援護者の安否を確認)



9 協力し合って救出・救護
(決して無理をしない)



10 電気のブレーカーを切る
(避難前に安全確認)

●避難所での留意点

不自由で、プライバシーもほとんどない生活ですが、
そんなときこそおたがいの気持ちを理解し合い、助け合いましょう。

- 他の避難者に迷惑をかけないようにします。
- ストレスの解消に努めます。軽い運動でも効果があります。
- 悩む前に避難場所にいる町職員や保健師、警察官に相談します。
- 避難所の運営は行政やボランティアに任せきりにせず、
自主防災組織などが中心となって管理・運営します。
- かぜやインフルエンザの蔓延の恐れがあります。
手洗い・うがいをし、必要に応じてマスクを着用します。
- 車の中に泊まる場合、エコノミークラス症候群*に注意します。
やむを得ず車中ですぐず場合は水分をこまめに摂り、
足先を動かす運動をします。車中泊も数日が限界のようです。
- 避難場所では、自主防災組織や自治会に入っていない人、
災害時要援護者、外国人、旅行者などが孤立しないように、
また自分も孤立しないように十分にコミュニケーションを取ります。

*エコノミークラス症候群

長時間、座席に同じ姿勢で座ったままでいることで、膝の裏あたりの静脈の血が流れにくくなり、
血栓(血の固まり)ができてしまい、急に動くことにより外れた血栓が肺動脈に詰まり、呼吸困難を
起こし、最悪の場合は死亡してしまいます。



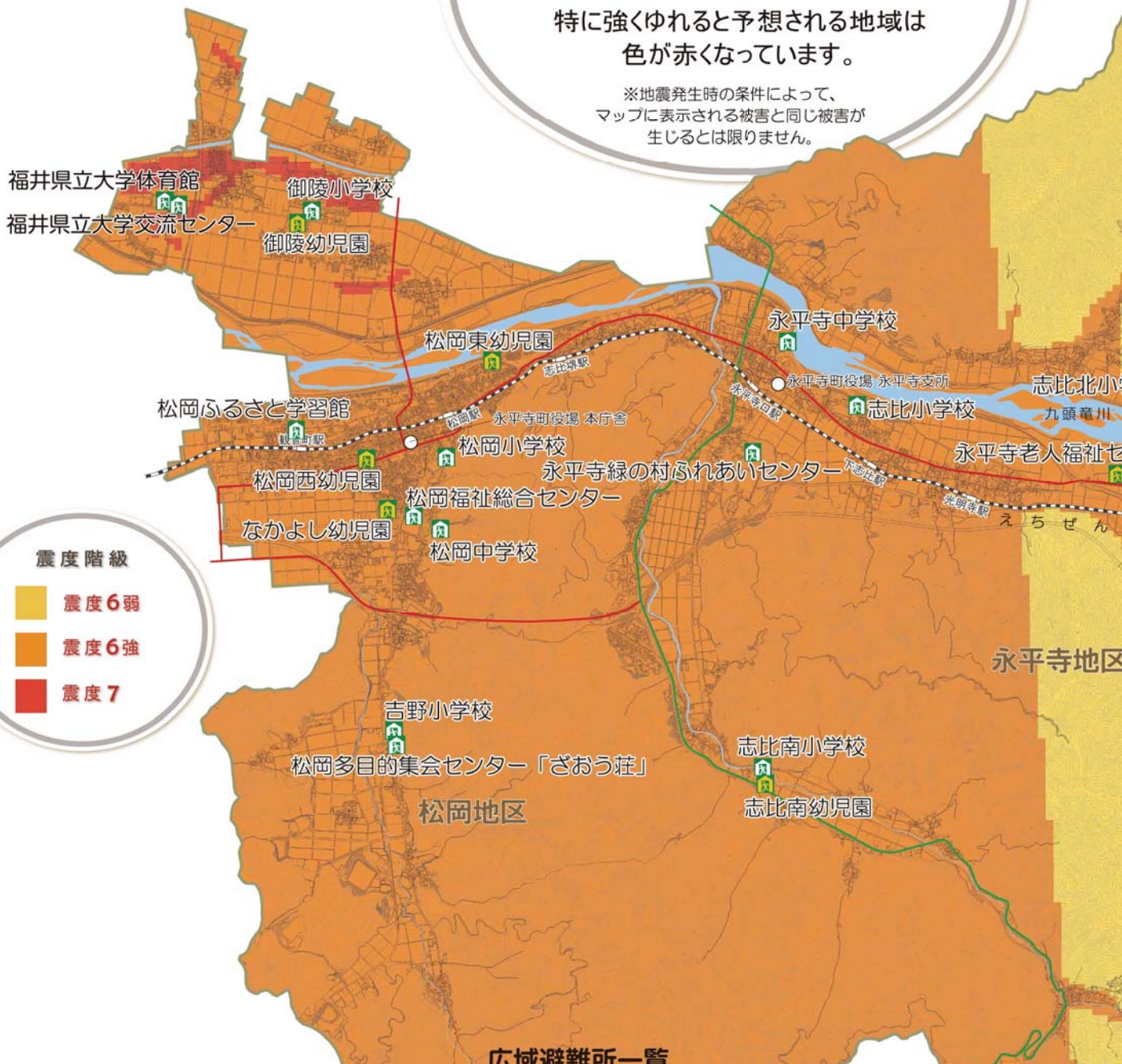
永平寺町 ゆれやすさマップ

ゆれやすさマップとは

永平寺町で起こる可能性のある地震を想定し、地震が起こった場合、どのようにゆれるかを色分けしました。

特に強くゆれると予想される地域は色が赤くなっています。

※地震発生時の条件によって、マップに表示される被害と同じ被害が生じるとは限りません。



震度階級

- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

凡例



広域避難所



福祉避難所

— 第1次緊急輸送道路(福井県)

— 第2次緊急輸送道路(福井県)

--- えちぜん鉄道



1:15,000



広域避難所一覧

施設名	防災ブロック	住所
志比北小学校	永平寺北	岩野2-1
永平寺生活改善センター	永平寺北	吉波23-10-33
永平寺中学校	永平寺中	東古市22-46
志比小学校	永平寺中	谷口1-70
志比南小学校	永平寺南	市野々1-11
松岡福祉総合センター	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-44
松岡中学校	松岡東	松岡吉野堺61-10-1
松岡小学校	松岡東	松岡神明3-132
吉野小学校	松岡吉野・坂上	松岡吉野26-3
御陵小学校	松岡御陵	松岡兼定島39-15
松岡多目的集会センター「ざおう荘」	松岡吉野・坂上	松岡吉野25-18
松岡ふるさと学習館	松岡西	松岡松ヶ原4-803
上志比小学校	上志比	栗往波26-15
上志比中学校	上志比	栗往波16-47
緑の村ふれあいセンター	永平寺南	山10-1
福井県立大学 交流センター	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1
福井県立大学 体育館	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1

震度による
人や建物などへの
影響を知り、
いざという時のために
備えましょう。

地震の震度と想定される被害

震度	想定される被害
4	ほとんどの人が驚く。 明かりなどのつり下がっている物は大きく揺れる。
5弱	多くの人が恐怖を感じ、物につかまりたいと感じる。
5強	物につかまらなると歩くことが難しい。 棚にある食器類など落ちるものが多くなる。
6弱	立っていることが難しくなる。 地震に弱い木造の建物は傾いたり倒れたりすることがある。
6強	はわないと動くことができない。 地震に弱い木造の建物は傾いたり倒れたりするものが多くなる。
7	ゆれにほんろうされ、動くこともできない。 地震に弱い木造の建物は傾くものや倒れるものさらに多くなる。



福祉避難所一覧

施設名	防災ブロック	住所
志比北幼稚園	永平寺北	吉波23-8-1
永平寺老人福祉センター(永寿苑)	永平寺中	飯島6-34
志比南幼稚園	永平寺南	市野々2-19-1
松岡東幼稚園	松岡東	松岡薬師1-1-63
松岡西幼稚園	松岡東	松岡葵3-120
なかよし幼稚園	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-37
御陵幼稚園	松岡御陵	松岡兼定島38-6
上志比幼稚園	上志比	石上26-26



ひごろ
日頃から
まん いち そな
万が一に備えて、
ほうさいたいさく
防災対策をしましょう。

町で起こる水災害を知ろう

梅雨時期や台風時期には風水害が起こりやすくなります。風水害への備えは、まず、テレビやラジオで気象情報を注意して聞くことから始まります。気象情報や雨の降り方に気をつけて早めの安全対策をとりましょう。

●近年における水害

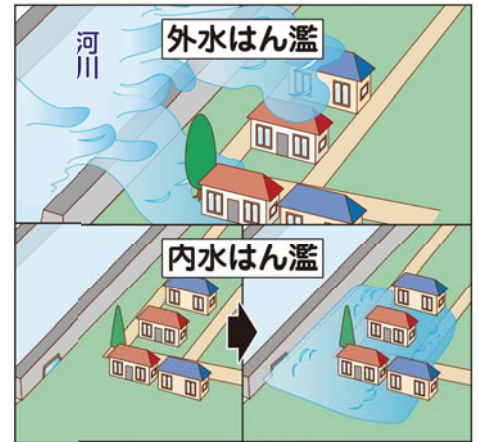
日本周辺では、毎年数多くの台風が発生し、全国各地に大雨や強風による被害をもたらしています。

近年は、記録的な集中豪雨に見舞われることが多いため、短時間に多量の雨水が河川や下水道に集まり、大きな河川がはん濫しなくても、マンホールなどからあふれ出した水による浸水被害が全国各地で頻繁に発生するようになりました。



えい坊くんの
POINT!

- ・川から水があふれることを「外水はん濫」といいます。
- ・降った雨が窪地にたまったり、水路やマンホールからあふれることを「内水はん濫」といいます。



●過去の災害

1998(平成10)年8月14日の集中豪雨

近年では、平成10年8月14日に、荒川、永平寺川、犀川、河内川等において溢水が生じ、永平寺町でも多くの家屋が浸水被害を受け、国道等が通行不能になりました。



町で起こる土砂災害を知ろう

一般的に土砂災害というと「土石流」や「がけ崩れ」、「地すべり」を言い、雨の降り方が深く関わっています。発生原因や心構えが異なりますので違いをよく理解しましょう。

土石流
災害



土石流とは…?

土石流とは、谷や斜面に溜まった土・石・砂等が、大雨による水とともに一気に流れ出す現象です。スピードが速く、破壊力も大きいため、広範囲に大きな被害が出ます。

がけ崩れ
災害



がけ崩れとは…?

がけ崩れとは、地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象です。一瞬のうちに崩れ落ちるため、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

地すべり
災害



地すべりとは…?

地すべりとは、比較的緩やかな斜面で地中の粘土層等がゆっくりと動き出す現象です。一度に広範囲で発生するため、住宅や道路等に大きな被害を及ぼします。



えい坊くんの
POINT!

雨が降り続けている時に下記の現象が発生したら、土砂災害の前兆です。早めの避難を行いましょう。

- ・斜面が崩れだす
- ・落石が生じる
- ・がけに割れ目が見える
- ・地面の一部が落ち込んだり盛り上がったりする
- ・水が異常に濁る
- ・雨が降り続けているのに水位が下がる^(※)
- ・がけから水が噴出する
- ・濁水に流木が混じりだす
- ・樹木が傾く

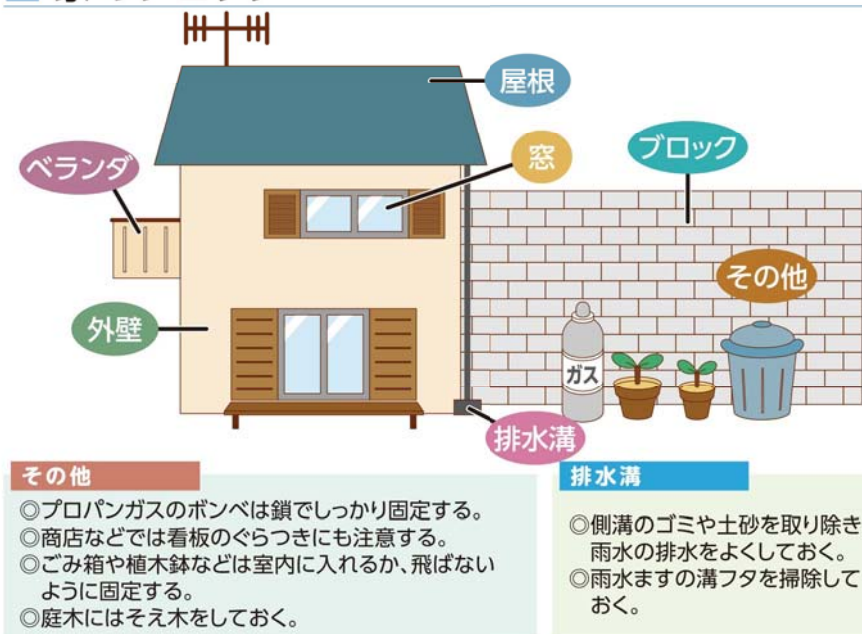
※降った雨が何らかの理由で上流で止まり、流れて来ない状態です。



日頃からの水害・土砂災害への備え

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。万が一に備えて、家族みんなで家の危険箇所をチェックしたり、いざというときの避難先等について話し合いをしておきましょう。

■ 家のチェック



屋根

- ◎不安定なアンテナは補強する。
- ◎トタンがめくれているか。
- ◎瓦のひび・割れ・はがれがあれば直しておく。

ベランダ

- ◎植木鉢や物干しざおなど、落下や飛散の危険のあるものはかたづける。

外壁

- ◎壁に亀裂はないか。

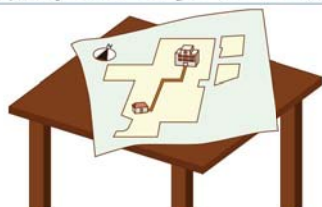
窓

- ◎窓枠のがたつきはないか。
- ◎雨戸にがたつきはないか。
- ◎窓枠の補強をする。

ブロック

- ◎傾きやひび割れ、破損している箇所はないか。
- ◎規格どおりに作られているか。
- ◎できれば安全な生け垣などにする。

■ 実際に避難経路を歩いてみよう



地図で自宅や学校、職場などを探してみる
お住まいの場所周辺の危険箇所を把握する(危険箇所はp17-20参照)
自分の地区の避難所をみつける(避難所はp17-18参照)
避難経路を想定してみる



避難経路を実際に歩き距離感や所要時間を確認する
経路の途中で危険な箇所や逃げ込めそうな安全な場所があるかなどを調べてみる

■ 皆さんができる治水対策…事前の対策をしよう

雨水を貯めたり地面に浸透させることなどにより、短時間で多くの水が川に流れ出るのを防ぎ、洪水被害を軽減できます。

庭の土や植物も役に立っている

庭に土や植物があると、降った雨水が一度に流れず、自然に地面にしみ込んでいきます。

雨水をためて庭の水まきに

雨どいから流れ落ちる水をバケツにためておくと、晴れてから庭の水まきや花への水やりなどに利用できます。

庭にある池も役割があります

庭にある池も、雨水をいったんためる役割を持っています。

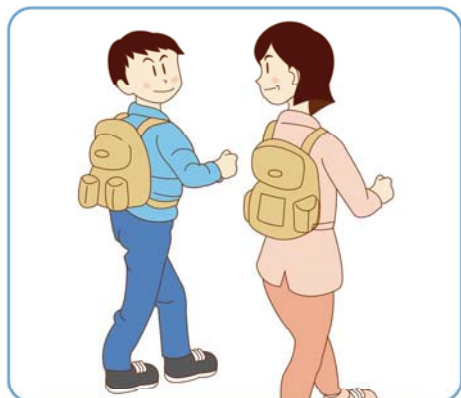
大雨のときはお風呂の水を流すのをちょっと待って

特に大雨のときは、お風呂の水を流すのをちょっと待って、ためておくのも工夫のひとつです。

避難するときの心得

水災害時の避難は、実際の浸水が始まる前に行ってください。浸水が始まってからの避難は、濁流に巻き込まれるなどの危険が高まります。状況によっては、自宅の2階以上に避難することも大切です。

避難するときの心得を学び、気をつけて避難を行いましょう。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。



歩きやすい「はき物」をはきましょう。長靴は、水が入ると重くなるので控えましょう。



車での避難は控え、徒歩で避難しましょう。車は浸水すると故障し、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。



歩いて避難できる深さは、ひざ下程度です。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



地面が見えにくくなり、マンホールや水路などに落ちてしまう危険性があります。棒を使い、足元に注意して歩きましょう。



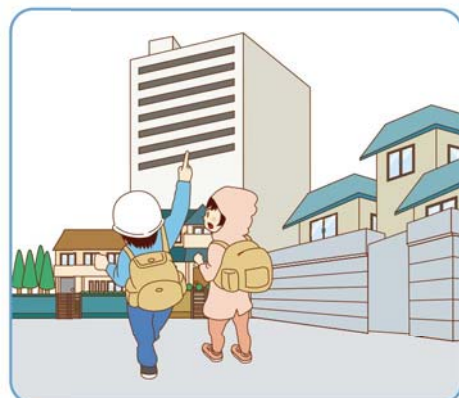
子どもやお年寄りの避難を手助けしましょう(早めの避難が大切です)。



河川の近くなど、危険な場所へは近づかないようにしましょう。



高速高架下には、水が溜まっている危険性があります。違うルートを通りましょう。



もしも逃げ遅れたら、近くの高い建物へ避難し、救助を待ちましょう。



避難に役立つ情報 その1

●大雨に関する情報

気象庁では、大雨に関する気象情報として、これまで、注意報、警報などを運用してきました。しかしながら、近年の災害では、災害発生の危険性が十分に住民や自治体に伝わらなかったことから、平成25年8月より、従来の注意報、警報に加えて、特別警報の運用を開始しました。

特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせするものです。気象庁や町から特別警報発表の情報が伝達されたときは、ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

雨が強くなると…

注意報

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備。
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動を！

- ・気象情報や外の様子に注意。
- ・非常用品や避難場所、避難ルートを確認。
- ・災害に備えて、家の外の備えを点検。

大雨が降り続けると…

警報

町が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じて速やかに避難。

Point

特別警報が発表されていなくても早め早めの行動を！

特別警報が発令されました。

さらに激しい大雨が続くと…

特別警報

非常事態

避難場所

町からの避難勧告などに従い、ただちに避難所に避難。
外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所へ移動。

Point

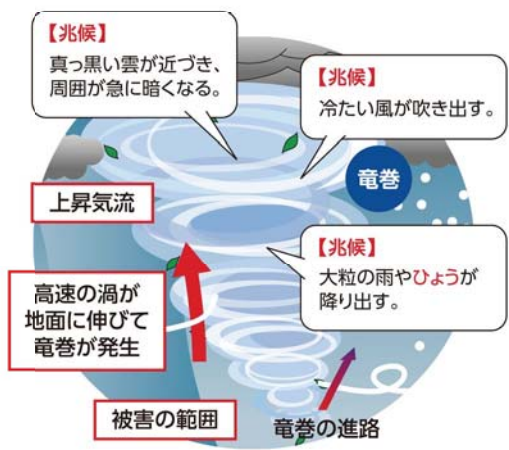
冷静な判断が大事です。周囲の状況に応じた行動を！

浸水中の避難は非常に危険！

「住居の位置」や「住居の構造」、既に浸水が生じている状況なのか否かによって「自宅避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。

●竜巻に関する情報

気象庁では、平成20年3月より竜巻注意情報を運用しています。竜巻注意情報は、積乱雲の下で発生する竜巻や激しい突風に対して注意を呼びかける情報です。福井県に竜巻注意情報が発表されたら、空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら、ただちに安全を確保しましょう。



避難のポイント

竜巻は移動スピードが速く、短時間で狭い範囲に被害をもたらします。

- プレハブの建物の中には逃げない。
- 頑丈な建物の物陰で、身を低くする。
- 電柱や樹木の下には逃げない。
- 室内では家の1階でテーブルの下に入り身を低くする(窓ガラスの付近には行かない)。

避難に役立つ情報 その2

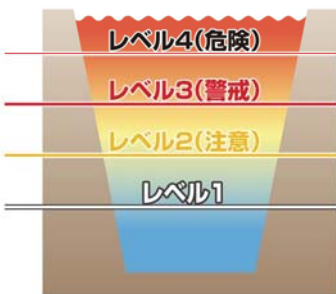
永平寺町を流れる九頭竜川・永平寺川では、国・福井県が水位情報をリアルタイムで提供しています。この水位情報と別途観測している雨量情報をもとに、各種警報が発令されます。

●水位観測所における基準水位

河川のはん濫の危険性は、河川ごとに異なります。永平寺町の主要河川の水位観測所において、はん濫の目安となる水位や、発生の恐れのある水位などを定めています。

河川名	観測所名	水防団待機水位 (通報水位)	はん濫注意水位 (通報水位)	避難判断水位 (通報水位)	はん濫危険水位 (通報水位)
九頭竜川	五松橋	1.50m	2.50m	-	-
九頭竜川	小舟渡	2.30m	3.30m	-	5.30m
永平寺川	諏訪問	1.10m	1.90m	-	3.00m

●河川の水位について



水位	危険度レベルの概要
はん濫危険水位 (通報水位)	いつ、はん濫が発生してもおかしくない状況であり、避難していない住人への対応を求める水位
避難判断水位 (通報水位)	洪水による重大または相当な損害を生じるおそれがある水位で、市町村は避難勧告などの発令を判断する水位
はん濫注意水位 (通報水位)	水防団、消防機関の出動などの目安となる水位で、市町村は避難準備情報の発令を判断する水位
水防団待機水位 (通報水位)	水防団が待機を行う目安となる水位

●情報の入手先

永平寺町ホームページ	http://www.town.eiheiji.lg.jp/webworks/index.html 住民の方への「お知らせ」、「業務案内」や洪水ハザードマップをはじめとする各種防災情報を提供しています。	
福井河川国道事務所 防災情報	http://www.fukui.kkr.mlit.go.jp/bousai.html ▶福井の川と道についての情報 河川と道路に関する各種防災情報を素早く取得できるサイトマップとして提供しています。	
福井県の災害情報	http://info.pref.fukui.jp/bousai/web/index.html ▶災害情報インターネットシステム 災害時などに、県民の皆さまに対して、被害の発生状況や避難に関する情報や、福井地方気象台が発表する気象警報・地震・津波に関する情報などを、ホームページ(携帯サイト)や電子メールにより迅速に提供しています。	
福井県 河川砂防情報	http://ame.pref.fukui.jp/ ▶河川・砂防総合情報 県内の雨量情報、水位情報、土砂災害に関する情報などを提供しています。	
気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html ▶気象警報・注意報 / 気象警報 / 海上警報 / 台風情報 / 洪水情報 / 土砂災害警戒情報 / 竜巻注意情報など	



水害時の避難の注意ポイント

- 夜間の避難は大変危険が伴いますので、できるだけ早めの避難をしましょう。
- 大雨や洪水時に、近くの河川や田んぼなどが気になって確認しに行く途中、用水路の増水などで被災されることがあります。
- 浸水が始まってから確認しに行くことはやめましょう。

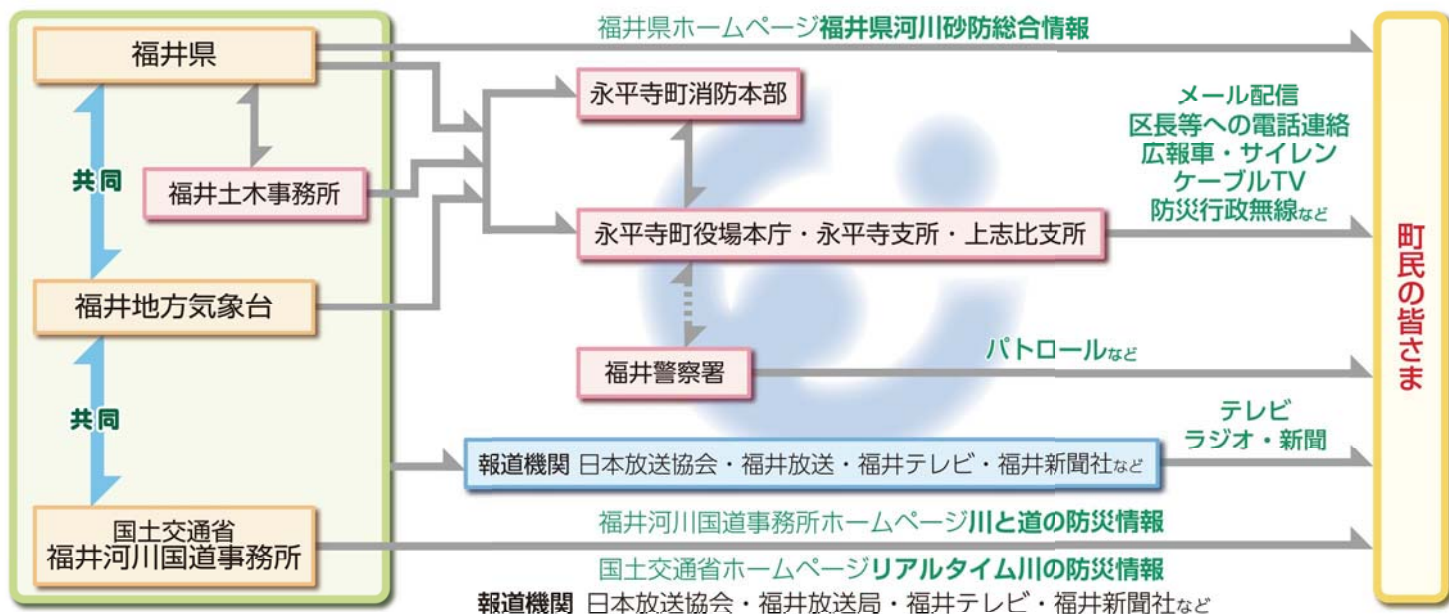


避難に役立つ情報 その3

●情報伝達の流れ

警報や注意報、避難勧告や避難指示は、下記のような経路にて町民の皆さまに伝達します。また、町のホームページなどでご自分で情報を入手することもできますし、登録された方はメール配信サービスでも情報を入手することができます。

災害のときは、正しい情報に基づき、消防職員や警察官、町職員の誘導によって、できるだけ近隣の地域住民同士でまとまって行動しましょう。



●土砂災害警戒情報と土砂災害の前兆現象

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象台と福井県から共同発表されます。土砂災害の前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう。

土砂災害警戒情報

避難行動を開始するタイミングの目安となります。この情報が発表されたときは、町域の中で土砂災害が非常に起こりやすくなっている箇所があります。警戒を強めてください。



●町が発表する避難情報

避難情報の種類	避難準備情報 (災害時要援護者避難)	避難勧告	避難指示
発令時の状況	特に避難行動に時間を要する者(避難行動要支援者)が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況、または人的被害が発生した状況。
皆さんが取るべき行動	特に避難行動に時間を要する方は、指定された避難所への避難行動を開始(避難支援者は支援行動を開始)。通常の避難行動ができる方は、避難準備を開始。	通常の避難行動ができる方は、指定された避難場所への避難行動を開始。身の安全を確保し、家族、近所で助け合いながら避難。	ただちに避難し、避難行動途中の方は、速やかに避難を完了。避難所への避難が困難なときは、自宅の2階や近所の高い建物へ避難。

永平寺町 全域版 保存版 洪水ハザードマップ

永平寺町洪水ハザードマップについて

この地図は、九頭竜川、荒川が大雨によって増水し、堤防が決壊したり溢れたりした場合の浸水予測結果と、過去の浸水実績についての各区調査結果に基づき、浸水の範囲とその深さ、並びに避難所等を示し、町民の皆さんの避難に役立つように作成したものです。

対象河川と対象降雨の規模想定

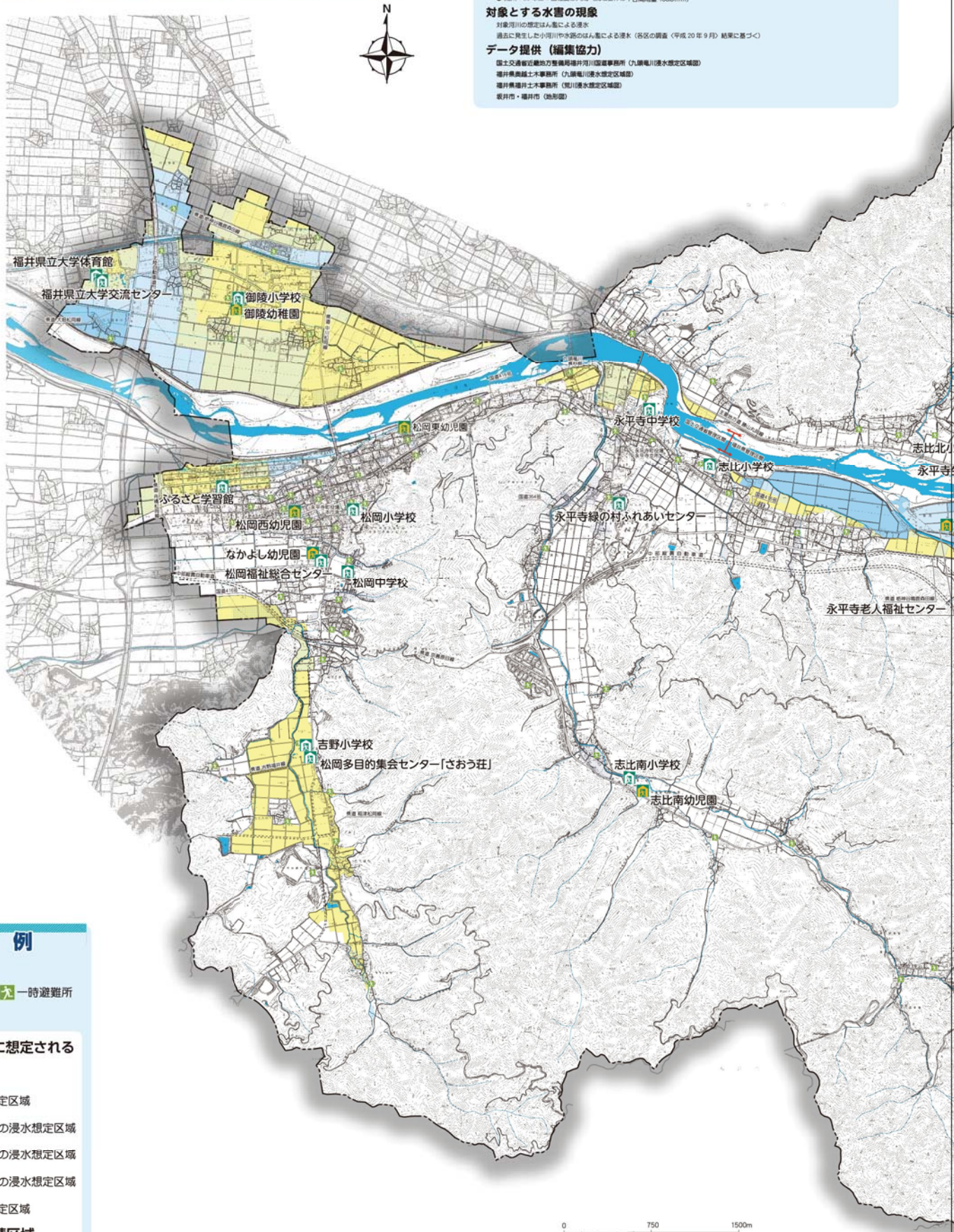
- 九頭竜川（国土交通省管轄区間）：150年に1回程度の大雨（中内地点の上流域の2日間雨量414mm）
- 九頭竜川（福井県管轄区間）：80年に1回程度の大雨（流域全体の2日間雨量410.2mm）
- 荒川：80年に1回程度の大雨（流域全体の1日間雨量188.8mm）

対象とする水害の現象

対象河川の想定はん濫による浸水
過去に発生した小川や水路のはん濫による浸水（各区の調査（平成20年9月）結果に基づく）

データ提供（編集協力）

- 国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所（九頭竜川浸水想定区域図）
- 福井県建設土木事務所（九頭竜川浸水想定区域図）
- 福井県建設土木事務所（荒川浸水想定区域図）
- 坂井市・福井市（地形図）



凡例

指定避難所

- 🏠 広域避難所
- 🎒 一時避難所
- 🏠 福祉避難所

浸水した場合に想定される水深(ランク)

- 5.0m以上の浸水想定区域
- 2.0mから5.0m未満の浸水想定区域
- 1.0mから2.0m未満の浸水想定区域
- 0.5mから1.0m未満の浸水想定区域
- 0.5m未満の浸水想定区域

過去の浸水実績区域

過去30年の浸水実績
(平成20年9月アンケート調査による)



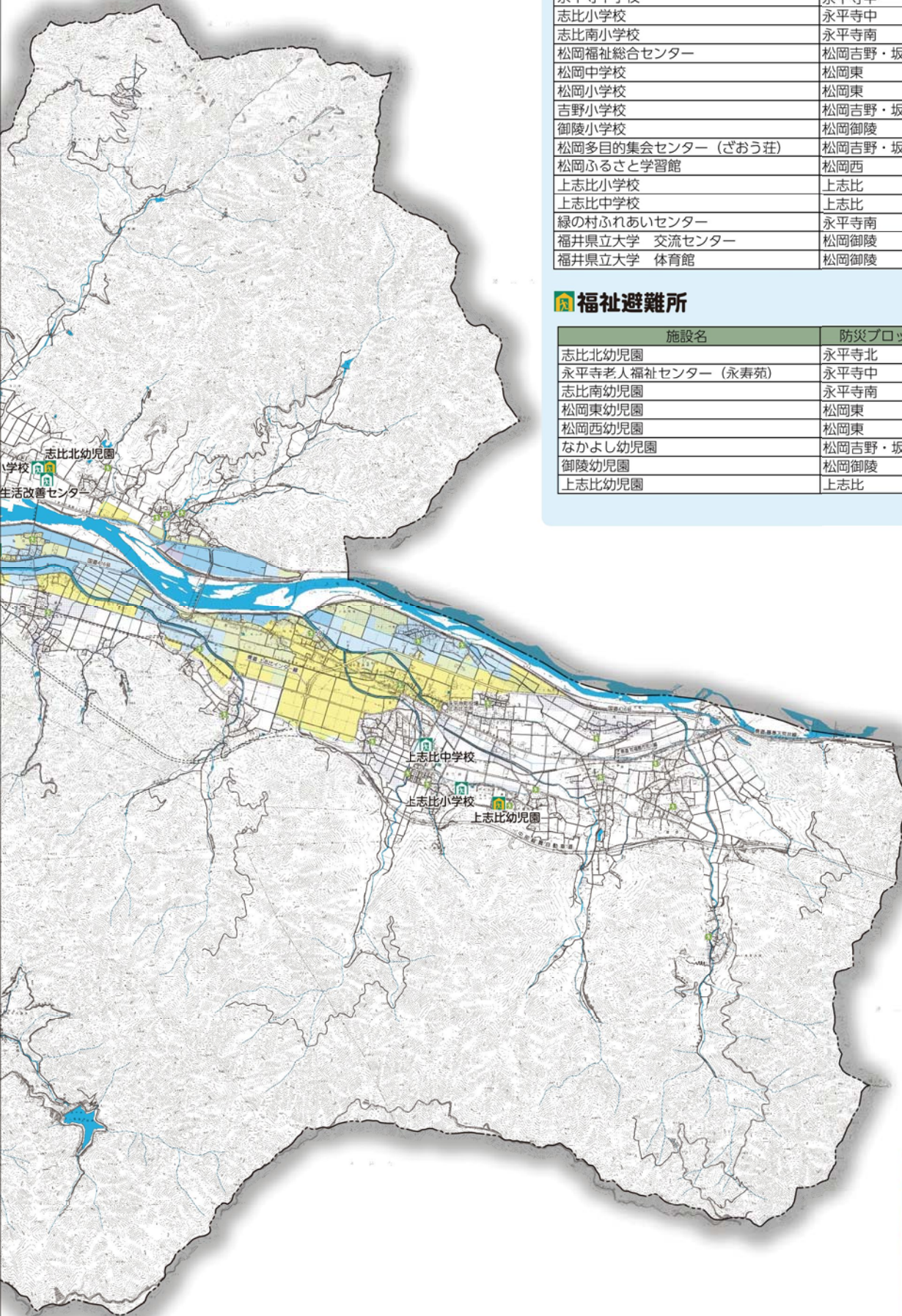
避難所一覧

広域避難所

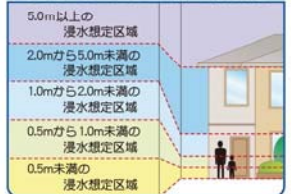
施設名	防災ブロック	住所
志比北小学校	永平寺北	岩野2-1
永平寺生活改善センター	永平寺北	吉波23-10-33
永平寺中学校	永平寺中	東古市22-46
志比小学校	永平寺中	谷口1-70
志比南小学校	永平寺南	市野々1-11
松岡福祉総合センター	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-44
松岡中学校	松岡東	松岡吉野堺61-10-1
松岡小学校	松岡東	松岡神明3-132
吉野小学校	松岡吉野・坂上	松岡吉野26-3
御陵小学校	松岡御陵	松岡兼定島39-15
松岡多目的集会センター（ざおう荘）	松岡吉野・坂上	松岡吉野25-18
松岡ふるさと学習館	松岡西	松岡松ヶ原4-803
上志比小学校	上志比	栗往波26-15
上志比中学校	上志比	栗往波16-47
緑の村ふれあいセンター	永平寺南	山10-1
福井県立大学 交流センター	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1
福井県立大学 体育館	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1

福祉避難所

施設名	防災ブロック	住所
志比北幼稚園	永平寺北	吉波23-8-1
永平寺老人福祉センター（永寿苑）	永平寺中	飯島6-34
志比南幼稚園	永平寺南	市野々2-19-1
松岡東幼稚園	松岡東	松岡薬師1-1-63
松岡西幼稚園	松岡東	松岡葵3-120
なかよし幼稚園	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-37
御陵幼稚園	松岡御陵	松岡兼定島38-6
上志比幼稚園	上志比	石上26-26



浸水想定区域の見方



福井市の地図は、福井市長の承認を得て同市作成の福井市共用空間データ（地形図）を複製したものである。（承認 情第312号 平成20年12月5日）
 坂井市の地図は、坂井市長の承認を得て同市作成の坂井市共用空間データ（地形図）を複製したものである。（承認 坂情第310号 平成20年12月10日）

永平寺町

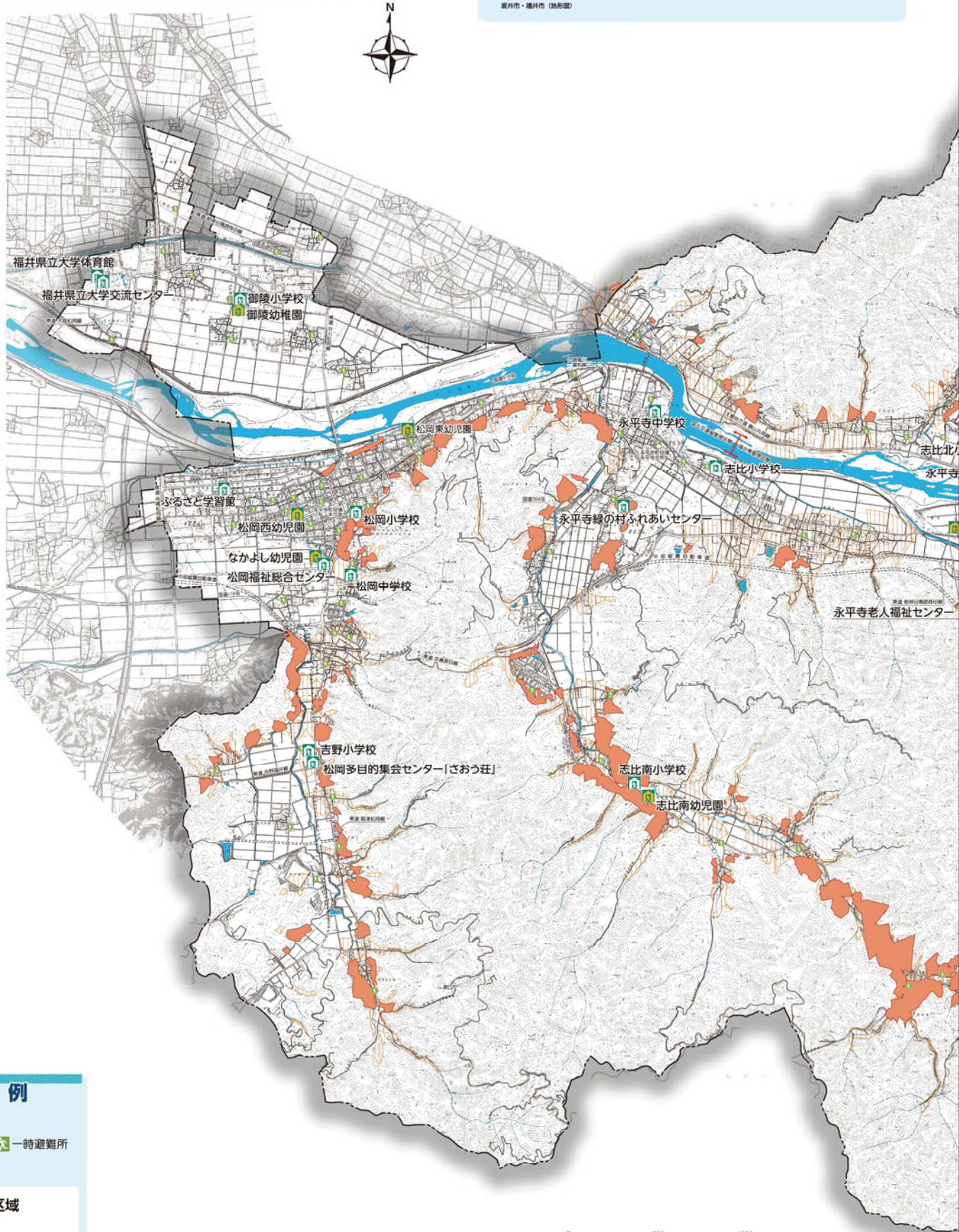
土砂災害ハザードマップ

土砂災害ハザードマップについて

この地図は、土砂災害(急傾斜地の崩壊、土石流)から住民の生命を守るため、土砂災害のおそれがある場所の地形や土地利用状況等を福井県が調査し、その結果に基づいて指定された警戒区域等を示したものです。土砂災害の危害のおそれのある区域やその近辺にお住まいの方は、大雨のときは、警戒・避難が必要となりますので、注意してください。

データ提供 (編集協力)

福井県土木部砂防海岸課 (土砂災害警戒区域図)
 坂井市・福井市 (地形図)



凡例

指定避難所

- 広域避難所
- 一時避難所
- 福祉避難所

土砂災害警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流

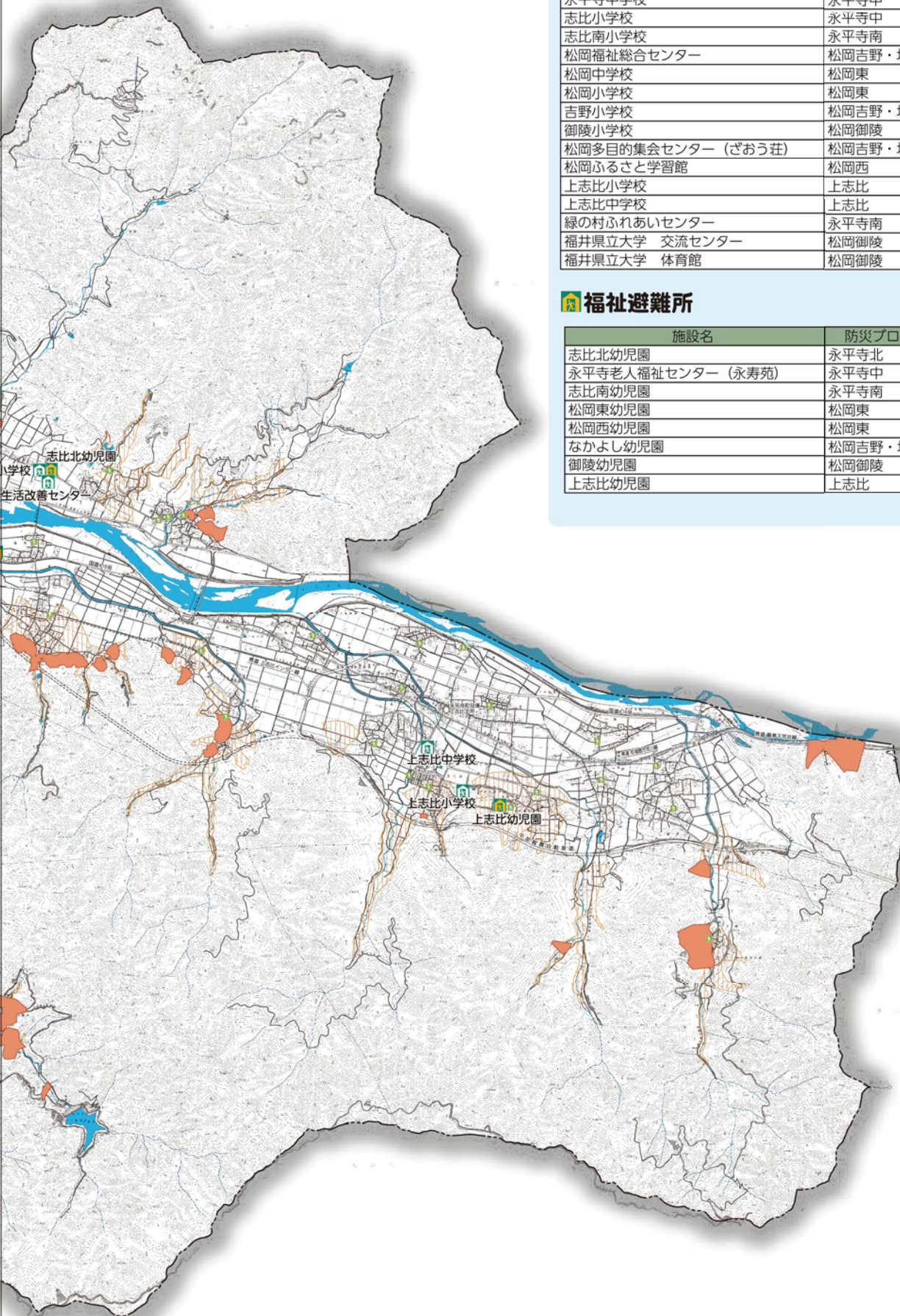
6 避難所一覧

広域避難所

施設名	防災ブロック	住所
志比北小学校	永平寺北	岩野2-1
永平寺生活改善センター	永平寺北	吉波23-10-33
永平寺中学校	永平寺中	東古市22-46
志比小学校	永平寺中	谷口1-70
志比南小学校	永平寺南	市野々1-11
松岡福祉総合センター	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-44
松岡中学校	松岡東	松岡吉野堺61-10-1
松岡小学校	松岡東	松岡神明3-132
吉野小学校	松岡吉野・坂上	松岡吉野26-3
御陵小学校	松岡御陵	松岡兼定島39-15
松岡多目的集会センター（ざおう荘）	松岡吉野・坂上	松岡吉野25-18
松岡ふるさと学習館	松岡西	松岡松ヶ原4-803
上志比小学校	上志比	栗往波26-15
上志比中学校	上志比	栗往波16-47
緑の村ふれあいセンター	永平寺南	山10-1
福井県立大学 交流センター	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1
福井県立大学 体育館	松岡御陵	松岡兼定島4-1-1

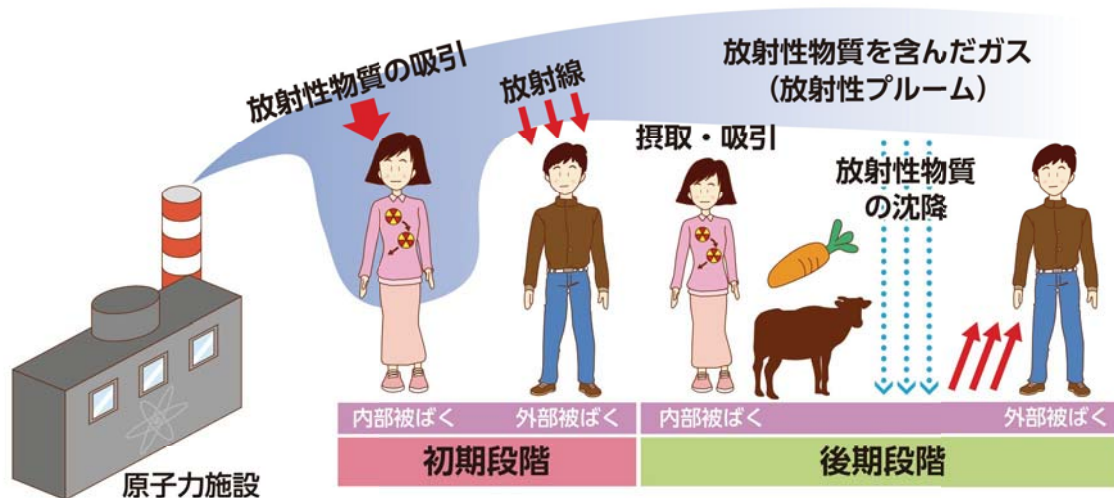
福祉避難所

施設名	防災ブロック	住所
志比北幼児園	永平寺北	吉波23-8-1
永平寺老人福祉センター（永寿苑）	永平寺中	飯島6-34
志比南幼児園	永平寺南	市野々2-19-1
松岡東幼児園	松岡東	松岡薬師1-1-63
松岡西幼児園	松岡東	松岡葵3-120
なかよし幼児園	松岡吉野・坂上	松岡吉野堺15-37
御陵幼児園	松岡御陵	松岡兼定島38-6
上志比幼児園	上志比	石上26-26



町が想定する原子力災害とは

事故などにより、原子力施設から放射性物質、または放射線が異常な水準で施設外へ放出される事態を想定しています。放射線は、ある一定量を超える高い線量を浴びる(被ばくする)と人体に有害であることが知られています。

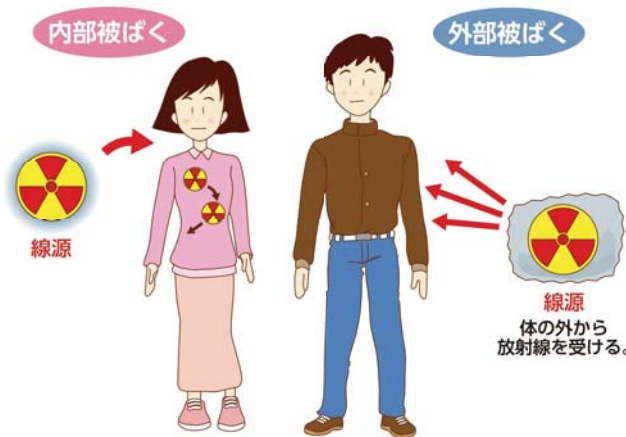


●被ばくとは

被ばくとは、人体が放射線を受けることです。その受け方によって内部被ばくと外部被ばくに分けられます。

内部被ばくとは、放射性物質が含まれる空気や飲食物を吸ったり摂取したりすることによって、放射性物質が体の中に入り、体の中から放射線を受けることです。

外部被ばくとは、体の外にある放射性物質から出る放射線を受けることです。

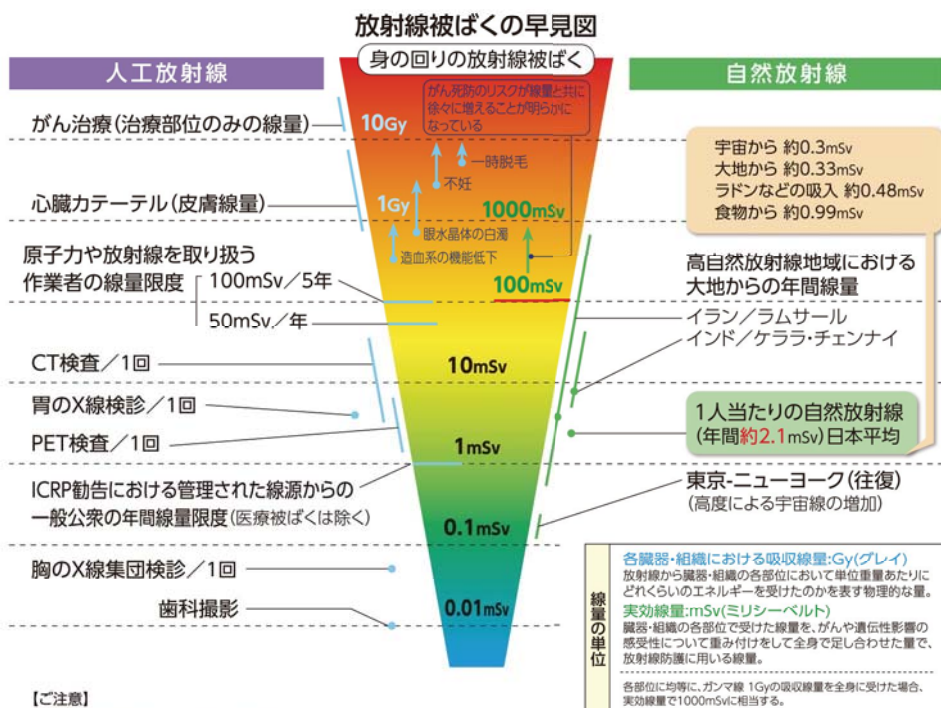


●日常生活と放射線

世界の平均では、1人当たり1年間に合計で2.4ミリシーベルトの自然放射線を受けているといわれています。これに対して日本平均は合計で1.5ミリシーベルトと推定されています。

また、日本では自然放射線のほかに放射線を利用した医療診断によって、国民1人当たり平均で2.25ミリシーベルトの線量を受けています。

※人工放射線の参考値
 ・放射線業務従業者の線量当量限度(年間) 50ミリシーベルト
 ・緊急作業従事者に認められている上限(年間) 100ミリシーベルト



【ご注意】
 1) 数値は有効数字などを考慮した概数です。
 2) 目盛(点線)は対数表示になっています。目盛がひとつ上がる度に10倍となります。
 3) この図は、引用している情報が更新された場合変更される場合があります。

出典: 国連科学委員会、放射線医学総合研究所ほか



万が一、原子力施設で事故が起きたときは

●正しい情報を入手しましょう

福井県に立地する原子力施設で緊急事態が起こった場合は、町から防災行政無線や広報車などにより必要な情報を速やかにお伝えします。その情報に従い、落ち着いて行動してください。

状況が確認できるまでは、屋内で待機してください。



防災行政無線、テレビ、ラジオなどから正確な情報をつかんでください。



町からの広報内容をご近所と確認しましょう。



防災活動の妨げになるため、町や防災関係機関への電話でのお問い合わせはお控えください。



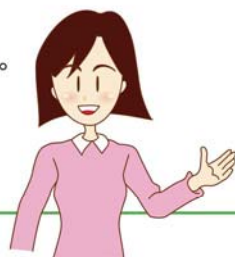
デマなどに惑わされないようにしましょう。

●屋内退避の指示が出たときは

事故の状況の進展により、「屋内退避」が指示されることがあります。そのときは、すぐに自宅などの屋内に入り、次の事項を守って、被ばくや放射性物質による汚染の防止に努めてください。

なお、コンクリートの建物は、木造家屋よりも放射線の遮へい効果が大きく、一般に気密性も高いので、被ばくに対する防護効果が高いと考えられています。

1. ドアや窓を全部閉めましょう。
2. 換気扇やエアコンなど外部との空気の流れを止めましょう。
3. 外から帰って来た人は顔や手を洗い、衣服を着替え、ビニール袋に入れましょう。
4. テレビやラジオなどの新しい情報を待ちましょう。



ドアや窓を閉めましょう。



換気扇・エアコンなどを止め、外気の侵入を防ぎます。

そのほか、必要に応じて、国や県より、安定ヨウ素剤の服用を指示されることがあります。

また、食べ物や飲み物の摂取を制限されることがあります。

非常時持ち出し品リスト

重さの目安は、男性で15kg、女性で10kg程度、両手が使えるリュックなどに準備しましょう。

通信機器・用具	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(FM付きがよい) <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 筆記用具など
照明用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> ローソク <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> マッチなど
飲料水	<input type="checkbox"/> 飲料水(一人一日3リットルが目安)
非常食	<input type="checkbox"/> 乾パンや缶詰(火を通さなくても食べられるもの。) <input type="checkbox"/> ビスケット・チョコレートなど
道具類	<input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 栓抜き <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 割り箸 <input type="checkbox"/> ナイロン袋 <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウェットティッシュ
防災用品	<input type="checkbox"/> 防災ずきん(ヘルメット) <input type="checkbox"/> 笛 <input type="checkbox"/> ハザードマップ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ビニールシートなど
生活用面	<input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 眼鏡 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 生理用品
救急・衛生用品	<input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 傷ぐすり <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 石けんなど
現金	<input type="checkbox"/> 現金(10円硬貨を準備。公衆電話は停電時でも、通話可能です)
貴重品	<input type="checkbox"/> 通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など
衣類	<input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> セーター <input type="checkbox"/> ジャンパー <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雨ガッパ <input type="checkbox"/> タオルなど

防災メモ

事前に話し合いと確認を。避難経路も歩いておきましょう。

名前	連絡先(会社・学校等)	電話(携帯電話)	メールアドレス	血液型
家族が離れたときの集合場所			電話番号	
メモ				

防災に関するメールサービス

永平寺町のメールサービスをご利用ください。

【携帯用サイト】 <https://service.sugumail.com/eiheiji/>

【PC用サイト】 <https://service.sugumail.com/eiheiji/member/>



防災、防犯など安全・安心の生活情報(福井県メールマガジン)

福井県は、防災関連情報、くらしのトラブル情報など生活関連情報の電子メール配信サービスを行っています。無料の購読申込を行えばすぐに利用できます。

パソコンで利用

<http://www2.pref.fukui.jp/melma/>

携帯電話で利用

<http://www2.pref.fukui.jp/melma/k/>



【発行】永平寺町役場 総務課 生活安全室

住所:〒910-1192 福井県吉田郡永平寺町松岡春日1-4 TEL:0776-61-1111(代表) <http://www.town.eiheiji.lg.jp>

平成26年2月作成